

# 意外に気づかないまま？

## 「皮膚のバリアー機能障害」



夏本番を控えて、とかく皮膚のトラブルが多くなる時期になってきました。昨年の夏に続いて、今年で開院4年目となる野口皮膚科医院にお話をききます。

皮膚疾患はなぜ、夏に多いのでしょうか？

もちろん虫に刺されることも多いことなども原因のひとつではありますが、汗によって皮膚の表面がゆるむこと、また紫外線によって皮膚がほろむことなど、皮膚のバリアーとしての機能が低下することが、最大の理由です。

具体的にどのような症状が増えるのでしょうか？

例えば、まぶたや頬は紫外線を強く浴びやすい場所です。さらに、こは髪の毛があたりやすい場所です。紫外線がほつたやわらかい皮膚に、髪の毛が傷をつけて炎症が起きている患者さんが多数来院されています。なかに「花粉症の皮膚症状」なんて勘違いしていた方も少なくありません。皮膚は、花粉を通過させません。ミクロの傷があつて、初めて花粉をはじめ微粒子がしみこむのです。

なるほど、児童では特にどのような症状が多いですか？

まず、発汗によってゆるんだ皮膚をかきこわしてできる「あせも」や、そこに菌がくっつくことによる「あ」とびひ、ウィルスに

よる、水いぼなどで来院する児童が多いものです。まず、あせもについてうかがえますか？

多くの場合、かきこわした皮膚に鼻水や鼻くその菌をすり込んでおこるものです。大人は皮膚の表面がしっかりしていませんのでならないのですが、児童は皮膚の表面がやわらかく、バリアーとしての機能が元々弱いので夏にさらにゆるむ結果、罹患しやすいわけです。

注意点は？

まず、かゆみがある場所を、かきこわす前に治療すること、鼻くそをほじくらないように言い聞かせること、かき壊したところをシャワーでよく流すことなどで、ある程度予防できます。

罹患した場合の治療はどのようにされるのですか？

まず、びらん部位を徹底的に覆うことです。軟膏のついた布を貼って包帯などで固定してそれ以上かきこわすことが最も大事です。暑いさなかに包帯だらけになってしまうのは、少々かわいそうですが、まあ、2、3日の辛抱です。開け放しのまま

消毒だの、化膿止め軟膏だの飲み薬だのと薬剤にたよった治療をしていると、いつまでも終わらない、なんていうことになりかねません。

昨年、水いぼについての説明会を取材させて

いただきました。

あくまでも、成長の過程のワックスアップとして、水いぼのウィルスに対する抵抗力が成立するまで待たないとのが基本です。近隣の幼稚園や保育園、スイミングスクールの先生方や父兄の方々に理解していただき、無理やりつまみとったり、水いぼを理由にプールにをいれてもらえない、なんていう酷なケースは減ったように、うれしく思います。

他の疾患についてもうかがわせて下さい。

まず、アトピー性皮膚炎といわれて、長期通院を覚悟している人の中になりの割合で、単なる乾燥性湿疹、皮脂欠性湿疹の方が含まれています。例えば、ハウスダスト、ダニ、花粉などの微粒子は皮膚を通過しません。空中に浮遊していたり、皮膚の表面に当たっただけでは何の反応もおきません。つまり、血液検査などで、陽性反応がでてても皮膚におきていないことは必ずしも一致しません。微粒子の侵入がおきないように、皮膚の表面を健やかな状態に保つておけば、皮膚炎はおきません。

つまり、微粒子が通過するようなき間がないわけですね。

そのとおりです。子供の皮膚はただでさえ薄いうえに、思春期前ですから皮脂も少ないもの。つまり子供は、ほぼ全員が乾

燥肌なのです。皮膚表面の最大のバリアーは角質層という、最外層の硬い層です。角質のすき間はセラミドという皮脂で接着しているのですが、これは思春期前には少ないもの。現代は石鹸、ボディソープが進歩した結果、使いすぎている人も多いようです。子供は元々セラミド不足の肌ですから、脱脂しすぎることになりがちです。結果、表面にミクロのすき間ができて、かゆくなっているなんていうケースが非常に多いようです。

では、どのように石鹸を使えばよいのでしょうか？

頭や、わき、おへそ、陰部など脂の多いところは石鹸でしっかり洗ってかまいません。その他、乾燥しがちなところは無理に石鹸をすり込まないでほしいものです。毎日お湯にあたるだけでも、あかがたまるようなことはあります。石鹸の香りがしないとい入浴した感じがしない、なんていう場合には、石鹸をしつかり泡立ててその泡だけを取って、軽く皮膚の上に触れさせる、なんていう洗い方もいいと思います。

なるほど、今年の納涼祭は、花火をはじめにぎやかに行なわれました



マリエール	R407 珈琲貴族	城山医院 東中	常盤高 BUSターミナル	九合児童館	野口皮膚科医院	太田運動公園 GS
GS	ローソン	旭中	青磁	フライングガーデン 旭小	たくみ亭	

また、野口皮膚科さんは各種レーザー治療、ピーリング治療などにきび、しみ、あざのユニークな治療でも、評判を耳にしますがそちらについてはいかがですか？

まあ、多くの患者さんも学ばせていただいているようなものです。改良を繰り返しながらやっています。詳しくはホームページをご覧ください。

# 野口皮膚科医院

住所 / 太田市飯塚町704-1 電話 / 0276-60-1211

診察時間 / 午前(9~12時)午後(15~18時) 診療科目 / 皮膚科・形成外科・小児科 休診日 / 日・水・祭日、土曜日午後

<http://noguchi.867.jp>

取材協力